

落語巡回公演
(説明書2(3))の実施に関する参考情報

一例として、出演者が「桂歌蔵」(真打ち)となる場合は、主に以下のような条件を確保することが期待されます。

1. 公演時間

- 1公演当たり90分が目安。

2. 会場・広報等

- 座席数は4都市で各々200～300席が最適。
- 機材は、マイク、字幕映写に必要な機材、高座を作るための低いテーブル、座布団などを会場となる劇場等からレンタルし設置する(座布団等、会場からレンタルできないものは別途手配する)。
- 字幕映写する原稿(噺の露訳)については、桂氏が保有する既存のものを利用。また、出囃子等のバックグラウンド・ミュージックは演者がCD等の音源を持参するため、別途の手配は不要。
- 事前広報は会場規模及び想定される聴衆に適した規模で行うこととする。各開催都市におけるプレスカバレッジの機会を確保することとする。
- 入場料は徴収しない。
- スムーズな機材搬入及び設営のため、公演前に会場側とテクニカル・ミーティング(1～2時間程度)を行う事が可能であること。

3. 出演に関連するロジスティクス等

- 公演期間は10月15日～31日の期間のいずれか10日間(その他国内公演との関係で、5月中旬までには日程を確定させる必要あり)
- 桂氏の同行者はいない。
- 衣装や小道具等は日本から携行。
- 航空券についてはエコノミークラス。
- 桂氏への謝礼は一公演あたり200米ドルとする。
- 公演の打合せやマスコミ対応、噺の流れに合わせ、字幕の切り替えを行うことのできる日露通訳要員1名が必要。

以上